

# 3度目挑戦 12月にも

## 「メテオ」打ち上げ 重なる不運 乗り越え

**NEWS CIT**

2015  
7.15

ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部  
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼  
2丁目17番1号  
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344  
<http://www.it-chiba.ac.jp/>  
毎月1回(8月を除く)15日発行



「カメラ(手前)も準備OK」—帰国後、記者対応する荒井上席研究員



打ち上げの瞬間を待つ松井所長と荒井上席研究員



カバナ・ケネディ宇宙センター長を訪問した瀬戸熊理事長と松井所長

### 「準備は万全」 荒井上席研究員

2度のロケット爆発という不運に見舞われながらも、国際宇宙ステーション(ISS)からの長期流星観測プロジェクト「メテオ」に携わる惑星探査研究センター(PERC)の研究員は意気盛んだ。3度目の打ち上げ予定は今年12月と決まった。観測に使う超高度ハイビジョンカメラの準備もOK。「3度目の正直」に向けて国際的な打ち上げ環境が整うのを見守っている。

「メテオプロジェクトとしてあります」と、PERCの荒井朋子上席研究員は言う。「メテオカメラをISSに運ぶロケットの2度目の爆発事故は日本時間6月28日午後11時21分の

### ニュースガイド

- 2面 女性が当選する選挙カー開発/安生さん石井さん審査員奨励賞/尾澤君・関君が特別賞/若林准教授に論文奨励賞
- 3面 瀧野研が独創コマ/FD委がトークセッション/校友「寺島政明氏」
- 4、5面 千葉工大26年度決算
- 6面 CIT音響フォーラム開催/形の科学シンポ開く/未来人「中西一貴さん」/保健室だより
- 7面 神田外語大でスポーツ交流/市ごみゼロ運動に参加/ものづくりマイスターに新倉さん我孫子さん/学生共済会予算・決算
- 8面 27年度PPA総会/クラブ活動状況

### 「めげず支援」理事長

「メテオ」カメラを搭載したスペースX社の商用補給船「ドラゴン」7号機が、ロケットファルコン9で米フロリダ州のケネディ宇宙センターから打ち上げられる光景を瀬戸熊理事長、松井孝典PERC所長、荒井上席研究員らは同空軍基地に隣接するNASAのケネディスペースセンター内の施設の5階テラスから見守っていた。発射台までの距離は約4キロ。ロケットは順調に高度を上げ、やがて噴煙に包まれて機体が見えなくなる。誰もが成功を信じた

「メテオ」カメラの再打ち上げに先立ち、PERCが開発した流星観測衛星「S-CUBE」が8月16日、JAXA(宇宙航空



### 新学部学科 始動へ弾み

#### 新習志野 説明会に847人

現在の工学部を再編し、学部12学科の説明会が6月7日、新習志野キャンパスで開かれ、進学希望の高校生と保護者など847人が訪れた。写真。一部のプログラムを予約制とする異例の説明会だったが、予想通りの人気となった。また、新たに設けられる12学科の担当教員が、それぞれの学科の教育内容を説明する新学科個別説明会を40分ずつ3回行い、これを利用して3つの学科の説明を聞く来場者も見られた。

「メテオ」カメラの再打ち上げに先立ち、PERCが開発した流星観測衛星「S-CUBE」が8月16日、JAXA(宇宙航空)のケネディ宇宙センターから打ち上げられる光景を瀬戸熊理事長、松井孝典PERC所長、荒井上席研究員らは同空軍基地に隣接するNASAのケネディスペースセンター内の施設の5階テラスから見守っていた。発射台までの距離は約4キロ。ロケットは順調に高度を上げ、やがて噴煙に包まれて機体が見えなくなる。誰もが成功を信じた

### S-CUBE 近く打ち上げ

#### 世界初 宇宙から流星紫外線観測

「メテオ」カメラの再打ち上げに先立ち、PERCが開発した流星観測衛星「S-CUBE」が8月16日、JAXA(宇宙航空)のケネディ宇宙センターから打ち上げられる光景を瀬戸熊理事長、松井孝典PERC所長、荒井上席研究員らは同空軍基地に隣接するNASAのケネディスペースセンター内の施設の5階テラスから見守っていた。発射台までの距離は約4キロ。ロケットは順調に高度を上げ、やがて噴煙に包まれて機体が見えなくなる。誰もが成功を信じた







# 独創コマに視線集中!

## 瀧野研、コマ大戦の県予選に出場

まずは2個のコマがバトルを繰り返している。写真をご覧ください。手前の銀色に輝いているのが、機械サイエンス学科・瀧野日出雄教授の研究室のチームが作ったコマ。6月6日に千葉市の「きぼーる」で開かれた「全日本製造業コマ大戦/県別対抗団体戦」の千葉県予選に出場し会場の注目を集めた。



改めて②の写真にご注目! コマの外周に4個の小さな金属球をはめ込んだ溝が6列刻まれている。小球の数は合わせて24個。この小球の回転



出場した保坂さん

「最近のコマには、相手への衝撃を強めるため外周に凹凸を付けているものが多い。そこで、この小球の列が有効だと考えました」(保坂さん) 実際では、外周に凹凸を付けて、より小さいピンを打ち込んだコマに対して小球が思い通りに動かなかったことや、重心の低い逆お椀型など回転力に勝るコマが多かったことから、予選に勝ち残ることはできなかった。しかし、「学生に設計・加工の知識を深めさせ、独創性を育む。また、チームによるモノづくり経験をさせる」という瀧野教授の狙いは十分達成されたようだ。

# FD委トリークセッション

## 教育能力高める方法と悩みを討論

一昨年に続いて2回目の今年の千葉県予選には県内の中小製造業などの14チームが参加した。瀧野研チームは一昨年、参加16チーム中2位となり、長野県上田市で開かれた県別対抗団体戦に出場した経歴がある。

そこで今年も、一昨年のチームメンバーだった保坂隆博さん(修士2年)を中心に、齋藤裕祐さん(修士1年)と相原寛樹さん(同)の3人がチームを組み、工作センターの協力で、これまでの大戦での常識を覆す斬新なコマを1カ月がかりで作りを上げた。

教育能力を高めるため実践的方法を探る本学FD委員会(内海秀幸委員長)が主催の「イブニングトークセッション」が5月28日夕、津田沼校舎2号館の大教室で開かれた。今年度からベストティチャー賞、グッドレクチャー賞、グッドシナリオ賞を受賞教員の授業公開を始めるのを機に、調査内容を振り返り、語り合うのが目的。教職員88人が参加した。FD委員会委員の3人と情報メディアセンター部長がパネリストを務め、教職共同で以下の話題を展開した。

▽本学を取り巻く状況 公明を始めるのを機に、調査内容を振り返り、語り合うのが目的。教職員88人が参加した。FD委員会委員の3人と情報メディアセンター部長がパネリストを務め、教職共同で以下の話題を展開した。

▽授業点検書からうかがえる授業の質的改善 教員マインド・学生マインド 関和電機電子情報工学科教授 授業点検書の分析から、授業における双方向性を高めるアイデアとしてコミュニケーションシートの活用と、電情で実施されている授業参観制度を説明

▽授業の質的向上を目指す取り組みとその実効性 菅洋志機械サイエンス学科助教 他大学の検討状況を参考に、まずはサロン形式での授業参観制度や、それを補完する教員マインド制度を提案

今後の活動をどうする、どこまでやるかと率直な悩みも述べられ、参加教員との間で活発な質疑が続いたため、時間を延長して対応。教育能力向上への関心の高さが表れる夕べとなった。



8月2日(日)~9日(日)の8日間、東京スカイツリータウンキャンパス(東京スカイツリータウン8階)で、千葉工大×宇宙兄弟 Technology+ 展を開催します。漫画「宇宙兄弟」のインパクトのあるグラフィックパネルを設置して、名シーンを視覚的に体験出来ます。入場無料。

# 活躍する 校友

ムロコーポレーション取締役 寺島 政明氏 (55歳) (昭和57年、金属工学科卒)

「若い時分は引っこ込み思案でした」。およそそうは見えない、明るい能弁で、株式会社ムロコーポレーション(本社・東京、社員約530人)の取締役、寺島政明さん(鳥山工場長)は部下を引っ張っていく。立場は人を成長させるようだ。

ムロコーポレーションは、車関連の部品を主に約1万5000点を独自に作れる中堅部品メーカー。金型設計から製造、検査まで一貫生産体制を誇る。しかも、その技術をほぼ内製化しているのが強みという。

「ここでは日々約200万個の部品を国内外の自動車メーカー11社へ供給しています」。同社の国内3工場のうち最も歴史の古い鳥山工場(栃木県那須烏山市、社員約300人)を預かる寺島さんは胸を張る。工場総務部のホワイトボードにはボルボ、ホンダなどの打ち合わせ予定が書き込まれて見える。

# 本を読み、人を知るべし 能力は未来進行形



「役職が付くと経験や知識が問われる」と寺島さん

「ここでは日々約200万個の部品を国内外の自動車メーカー11社へ供給しています」。同社の国内3工場のうち最も歴史の古い鳥山工場(栃木県那須烏山市、社員約300人)を預かる寺島さんは胸を張る。工場総務部のホワイトボードにはボルボ、ホンダなどの打ち合わせ予定が書き込まれて見える。

「苦学生でした」。東京・新小岩のアパートで4年間送った。3年までアルバイトをよくした。JRA中山競馬場の交通整理員、冷凍食品工場の清掃……「冷凍のシューマイをときどきもらいました。このおいしかったですね」。この中で、内気な性格を外へ開いていったという。とはいえ、アパートは友人のたまり場になり、マジシャンや飲み会など学生生活を結構エンジョイしたらしい。

「車メーカー側の参加者からこんなセリフも出ました。『手の汚れていない管理者は去れ』って」。モノづくりにおいては管理者といえども現場に下り、知恵を出せ、という戒めだ。「目からウロコでしたね」。以後も品質改善に携わり、3年間サプライ・チェーン・マネジメント改善推進室長を勤めたあと2012

その津田沼キャンパスへ昨秋、人材開拓もあって卒業以来初めて訪れた。変貌ぶりに目を見張るとともに、「昔、通ったつけめん屋が津田沼駅前と同じ場所に残っていました。ここ、こちらも感激した。店内に座り、食べながら懐かしい情景へ思いを寄せた。その味に別れを告げ、いまの会社へ教授推薦で入って33年が過ぎたことになる。まさに光陰矢の如し。痛感したのは、大学で身につける程度の技術では実戦の用をなさないこと。熱処理関係の現場に配属されたものの、設備保全、自動システムの開発、電気配線……と間口は広く、専門書を求めて東京まで足を運んだことは一再ならず。がむしゃらな努力は2番目の清原工場(宇都宮市、1989年)の立ち上げにつながった。

それを機に30代で車メーカーとの品質向上改善会議に出席するなど仕事の幅を広げていく。全国から部品メーカーを集めたその場合は、各社のプレゼンなど切磋琢磨のバトル空間でもあった。

「車メーカー側の参加者からこんなセリフも出ました。『手の汚れていない管理者は去れ』って」。モノづくりにおいては管理者といえども現場に下り、知恵を出せ、という戒めだ。「目からウロコでしたね」。以後も品質改善に携わり、3年間サプライ・チェーン・マネジメント改善推進室長を勤めたあと2012



# 千葉工業大学決算(平成26年度)を承認

学校法人千葉工業大学の平成26年度決算が5月27日の理事会・評議員会で承認された。26年度は海外協定大学との連携強化による学生への修学支援、奨学金による経済的支援、さらには研究の高度化への支援などを反映した決算となった。(26年度事業計画の全文は本学ウェブサイトで公開)

## 1 教育研究活動

### ① 入学試験関係

平成27年度入学試験(平成26年度実施)における学部入試の志願者数は5万2600名(前年度4万3679名、前年度比120%)となった。

AO創造入試、推薦入試による入学者を対象に、入学前にウオーミングアップセミナーのスクリーニングを行い、入学後も継続的なフォローアップセミナーを開催した。

AO創造入試、推薦入試による入学者を対象に、入学前にウオーミングアップセミナーのスクリーニングを行い、入学後も継続的なフォローアップセミナーを開催した。

AO創造入試、推薦入試による入学者を対象に、入学前にウオーミングアップセミナーのスクリーニングを行い、入学後も継続的なフォローアップセミナーを開催した。

AO創造入試、推薦入試による入学者を対象に、入学前にウオーミングアップセミナーのスクリーニングを行い、入学後も継続的なフォローアップセミナーを開催した。

AO創造入試、推薦入試による入学者を対象に、入学前にウオーミングアップセミナーのスクリーニングを行い、入学後も継続的なフォローアップセミナーを開催した。

AO創造入試、推薦入試による入学者を対象に、入学前にウオーミングアップセミナーのスクリーニングを行い、入学後も継続的なフォローアップセミナーを開催した。

② 授業アンケート調査の実施と活用  
調査内容を集計・検討し、学生の満足度向上に反映させるよう活用している。FD活動の一環として授業アンケート調査の結果をまとめ、教授会において教員に配布した。また、学生にも公開している。

③ 自己発見レポートの実施と活用  
在学中に人間としての成長を図る指針や自己の気づきとして利用している。

④ ICTを活用した学生サービス  
学内及び自宅から、Webを利用した履修登録及びシラバスの内容の検索、確認ができる。教員と学生とのコミュニケーションを強化するため、本学独自のAPP(アプリ)を構築した。

⑤ 単位互換制度  
千葉県私立大学・短期大学を中心に県内26大学(放送大学を含む)、11短期大学において単位互換協定を結んでいる。

⑥ 入学前教育の充実  
入学前教育の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、入学前教育の充実強化を図っている。

⑦ 教職員が連携した就職支援の強化  
教職員が連携した就職支援の強化を図っている。

⑧ 入学前教育の充実  
入学前教育の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、入学前教育の充実強化を図っている。

⑨ 入学前教育の充実  
入学前教育の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、入学前教育の充実強化を図っている。

⑩ 初年度教育の充実  
初年度教育の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、初年度教育の充実強化を図っている。

⑪ 初年度教育の充実  
初年度教育の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、初年度教育の充実強化を図っている。

⑫ 初年度教育の充実  
初年度教育の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、初年度教育の充実強化を図っている。

⑬ 初年度教育の充実  
初年度教育の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、初年度教育の充実強化を図っている。

⑭ 初年度教育の充実  
初年度教育の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、初年度教育の充実強化を図っている。

⑮ 初年度教育の充実  
初年度教育の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、初年度教育の充実強化を図っている。

⑯ 初年度教育の充実  
初年度教育の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、初年度教育の充実強化を図っている。

⑰ 初年度教育の充実  
初年度教育の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、初年度教育の充実強化を図っている。

⑱ 初年度教育の充実  
初年度教育の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、初年度教育の充実強化を図っている。

⑲ 初年度教育の充実  
初年度教育の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、初年度教育の充実強化を図っている。

⑳ 初年度教育の充実  
初年度教育の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、初年度教育の充実強化を図っている。

㉑ 初年度教育の充実  
初年度教育の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、初年度教育の充実強化を図っている。

㉒ 初年度教育の充実  
初年度教育の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、初年度教育の充実強化を図っている。

㉓ 初年度教育の充実  
初年度教育の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、初年度教育の充実強化を図っている。

㉔ 初年度教育の充実  
初年度教育の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、初年度教育の充実強化を図っている。

㉕ 初年度教育の充実  
初年度教育の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、初年度教育の充実強化を図っている。

㉖ 初年度教育の充実  
初年度教育の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、初年度教育の充実強化を図っている。

㉗ 初年度教育の充実  
初年度教育の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、初年度教育の充実強化を図っている。

㉘ 初年度教育の充実  
初年度教育の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、初年度教育の充実強化を図っている。

㉙ 初年度教育の充実  
初年度教育の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、初年度教育の充実強化を図っている。

㉚ 初年度教育の充実  
初年度教育の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、初年度教育の充実強化を図っている。

㉛ 初年度教育の充実  
初年度教育の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、初年度教育の充実強化を図っている。

㉜ 初年度教育の充実  
初年度教育の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、初年度教育の充実強化を図っている。

㉝ 初年度教育の充実  
初年度教育の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、初年度教育の充実強化を図っている。

コンピュータ工学(フロンティア)とダブルディグリー協定締結、吉林大學(中国)と学生交換の協定を締結した。

④ 学内でのグローバル化活動  
地方自治体等との国際交流協力活動  
日本メキシコ学生交流(千葉県御宿町との包括的連携協定に基づき実施)を行った。

⑤ 各種資料の有効活用  
千葉工業大学学術情報リポジトリを開設し、博士學位論文及び研究報告の公開はこれを通じて行うことになった。

⑥ 競争的研究資金等の獲得  
⑦ 学術研究費助成事業  
平成26年度学術研究費助成事業の申請件数は113件で、このうち継続分も含め74件が採択された。

⑧ 奨学金付金及び受託研究費  
平成26年度中に受け入れた奨学金付金及び受託研究費は153件で、前年度比19件の増、金額は前年度比約2199万円の減となった。

⑨ 研究助成関係  
⑩ 特許  
平成26年度は14件を出願。

⑪ 附属研究所  
⑫ 研究助成金の交付  
学外の大規模研究費を獲得できる本学の核となる研究プロジェクトを育てるためにその準備・立ち上げを支援するための戦略的研究推進準備プロジェクトをはじめ、科学研究費助成事業や競争的研究資金の獲得を目的とする各支援を実施した。

⑬ 海外交流協定大学との教職員交流  
⑭ 海外交流協定大学との連携強化  
⑮ 学生の交流  
⑯ 交換留学(派遣)、交換留学(受け入れ)、語学研修派遣(協定大学主催を含む)、海外インターンシップ(派遣)、短期プログラム(受け入れ)、本学訪問(学内見学及び学生交流)を実施した。

⑰ 海外交流協定大学との連携強化  
⑱ 学生の交流  
⑲ 交換留学(派遣)、交換留学(受け入れ)、語学研修派遣(協定大学主催を含む)、海外インターンシップ(派遣)、短期プログラム(受け入れ)、本学訪問(学内見学及び学生交流)を実施した。

⑳ 海外交流協定大学との連携強化  
㉑ 学生の交流  
㉒ 交換留学(派遣)、交換留学(受け入れ)、語学研修派遣(協定大学主催を含む)、海外インターンシップ(派遣)、短期プログラム(受け入れ)、本学訪問(学内見学及び学生交流)を実施した。

㉓ 海外交流協定大学との連携強化  
㉔ 学生の交流  
㉕ 交換留学(派遣)、交換留学(受け入れ)、語学研修派遣(協定大学主催を含む)、海外インターンシップ(派遣)、短期プログラム(受け入れ)、本学訪問(学内見学及び学生交流)を実施した。

㉖ 海外交流協定大学との連携強化  
㉗ 学生の交流  
㉘ 交換留学(派遣)、交換留学(受け入れ)、語学研修派遣(協定大学主催を含む)、海外インターンシップ(派遣)、短期プログラム(受け入れ)、本学訪問(学内見学及び学生交流)を実施した。

㉙ 海外交流協定大学との連携強化  
㉚ 学生の交流  
㉛ 交換留学(派遣)、交換留学(受け入れ)、語学研修派遣(協定大学主催を含む)、海外インターンシップ(派遣)、短期プログラム(受け入れ)、本学訪問(学内見学及び学生交流)を実施した。

㉜ 海外交流協定大学との連携強化  
㉝ 学生の交流  
㉞ 交換留学(派遣)、交換留学(受け入れ)、語学研修派遣(協定大学主催を含む)、海外インターンシップ(派遣)、短期プログラム(受け入れ)、本学訪問(学内見学及び学生交流)を実施した。

㉟ 海外交流協定大学との連携強化  
㊱ 学生の交流  
㊲ 交換留学(派遣)、交換留学(受け入れ)、語学研修派遣(協定大学主催を含む)、海外インターンシップ(派遣)、短期プログラム(受け入れ)、本学訪問(学内見学及び学生交流)を実施した。

㊳ 海外交流協定大学との連携強化  
㊴ 学生の交流  
㊵ 交換留学(派遣)、交換留学(受け入れ)、語学研修派遣(協定大学主催を含む)、海外インターンシップ(派遣)、短期プログラム(受け入れ)、本学訪問(学内見学及び学生交流)を実施した。

㊶ 海外交流協定大学との連携強化  
㊷ 学生の交流  
㊸ 交換留学(派遣)、交換留学(受け入れ)、語学研修派遣(協定大学主催を含む)、海外インターンシップ(派遣)、短期プログラム(受け入れ)、本学訪問(学内見学及び学生交流)を実施した。

㊹ 海外交流協定大学との連携強化  
㊺ 学生の交流  
㊻ 交換留学(派遣)、交換留学(受け入れ)、語学研修派遣(協定大学主催を含む)、海外インターンシップ(派遣)、短期プログラム(受け入れ)、本学訪問(学内見学及び学生交流)を実施した。

㊼ 海外交流協定大学との連携強化  
㊽ 学生の交流  
㊾ 交換留学(派遣)、交換留学(受け入れ)、語学研修派遣(協定大学主催を含む)、海外インターンシップ(派遣)、短期プログラム(受け入れ)、本学訪問(学内見学及び学生交流)を実施した。

㊿ 海外交流協定大学との連携強化  
㊿ 学生の交流  
㊿ 交換留学(派遣)、交換留学(受け入れ)、語学研修派遣(協定大学主催を含む)、海外インターンシップ(派遣)、短期プログラム(受け入れ)、本学訪問(学内見学及び学生交流)を実施した。

小惑星探査機「はやぶさ2」、欧州の彗星探査計画「ロゼッタ」及び木星系探査計画「ジュノー」に参画している。特に「はやぶさ2」では、搭載されたほぼ全ての科学観測機器に関わり、ミッションを牽引する貢献を果たしている。

他にも独自の宇宙開発プロジェクトとして、流星観測超小型衛星、宇宙ステーションからの流星観測を進めている。平成26年度中に受けた科学研究費補助金・競争的研究資金は15件で、合計13004万円となった。

⑨ その他の活動  
⑩ ロボット世界大会2014で完全優勝  
⑪ はやぶさ2打ち上げパブリックビューイング  
⑫ 第19回エコメッセ2014 in ちばに出展  
⑬ 習志野市長と意見交換会開催  
⑭ サテック2015への参加  
⑮ 浦安市包括協定締結記念イベント  
⑯ 夏休みみゆめ実感親子わくわくサイエンスを開催

⑰ 技術ライセンス料、研究開発受託料が本学に入金された。

⑱ その他  
⑲ 株式会社日南と「櫻志」の共同記者発表を行った。国産ロボットとしては初めて原子力緊急事態支援センターに採用。

⑳ 福島第一原子力発電所原子炉建屋1-3号機にRosemaryとSakuraが投入され汚染状況調査が実施。

㉑ つくば市役所でNEDO「生活支援ロボット実用化プロジェクト」の成果発表会が行われ、アイシン精機、日本信号他と共同開発した搭乗型移動ロボットがメディアに報道された。

㉒ スイスの欧州原子核研究機構(CERN)で原発災害対応ロボット「櫻志」を用いた調査研究を行った。

㉓ 全国各地の中・高校で講演やロボットの製作実習を行った。

㉔ 惑星探査研究センター(PERC)

① 学生支援関係  
② 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

③ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

④ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

⑤ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

⑥ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

⑦ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

⑧ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

⑨ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

⑩ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

⑪ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

⑫ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

⑬ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

⑭ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

⑮ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

⑯ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

⑰ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

⑱ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

⑲ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

⑳ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㉑ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㉒ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㉓ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㉔ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㉕ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㉖ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㉗ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㉘ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㉙ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㉚ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㉛ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㉜ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㉝ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㉞ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㉟ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊱ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊲ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊳ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊴ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊵ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊶ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊷ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊸ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊹ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊺ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊻ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊼ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊽ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊾ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化(学生生活)に関する調査を実施し、結果を踏まえ、学生支援の充実強化を図っている。

㊿ 学生支援の充実強化



消費収支計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

Table with 4 columns: 科目, 予算, 決算, 差異. Rows include 消費収入の部 (Consumer Income) and 消費支出の部 (Consumer Expenses).

Table with 4 columns: 科目, 予算, 決算, 差異. Rows include 消費支出の部 (Consumer Expenses) and 繰越収支差額 (Carry-over Income/Expense).

Table with 4 columns: 科目, 予算, 決算, 差異. Rows include 繰越収支差額 (Carry-over Income/Expense).

貸借対照表

平成27年3月31日

(単位：円)

Table with 4 columns: 科目, 本年度末, 前年度末, 増減. Rows include 資産の部 (Assets), 負債の部 (Liabilities), 基本金の部 (Equity), and 消費収支差額の部 (Income/Expense Difference).

席の他、さまざまな学習形態に対応できる稼働式の机、椅子を用意することにより、グループ学習やプレゼンテーションの準備等に使用できるようにした。

4 施設設備整備関係 (1) 運動施設の充実 新習志野キャンパスに隣接する西浜運動施設に待望の多目的用途で利用できる屋内練習場が竣工した。

7 財務の概要 (1) 帰属収入1億7800万円 (予算比107.8%) 増、前年度比14億3700万円増。

(2) 教育研究経費は、これまでと同様に経費圧縮に努めたことにより予算比1億9200万円の減少となった。

資金収支計算書 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで (単位：円)

Table with 4 columns: 科目, 予算, 決算, 差異. Rows include 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenses).

Table with 4 columns: 科目, 予算, 決算, 差異. Rows include 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenses).

(6) 今後の課題 今後も引き続き財務基盤の安定をはかるため、次のような課題に取り組みたい。



# 「安全を守る音環境」中間報告

## ▶ CIT音響フォーラム開催



写真。

公共空間で人々の安全を守るための「音環境」をいかに構築するか。本学で音響分野を専攻する研究者で組織している音響情報研究センター（代表・陶良電気電子情報工学科教授）主催の「CIT音響フォーラム」が6月13日、津田沼キャンパスで開かれた。

平成21年から通算8回目となる今回のテーマは「安全・快適性のための音響情報伝達」。25年度から文部科学省「私立大学戦略的基盤形成事業」の補助金を得て進められている5年計画の研究プロジェクトで、今回はスタートから2年間の成果を報告した。

研究代表を務める情報工学科・矢野博夫教授の趣旨説明によれば、この研究プロジェクトの目的は、構成メンバーの広範な研究内容を関連づけて相乗効果を発揮させることで、公共空間で情報を伝える音の「明瞭性・了解性・快適性」を追求すること。

このため構成メンバーの研究内容は①音源の設計②電気音響システム③音環境・空間伝搬系④聴覚・認識の4分野に広がっている。

第8回CIT音響フォーラムでの発表は次の通り。

▽残響下において聞き取りやすいアナウンス音声合成法（情報ネットワーク学科・木幡隆教授）

▽音声単語親密度、話速、ポーズ長が文章理解に与える影響（情報工学科・世木秀明准教授）

▽音線法を用いた数値実験による指向性スピーカを用いた非常放送の明瞭性改善（矢野教授）

▽広域放送の明瞭性確保のための幾つかの検討（建築都市環境学科・佐藤史明教授）

▽気象条件が防災放送の了解度に及ぼす影響（無響室での音場再生とバイノーラルシミュレーション）の比較（電気電子情報工学科・飯田一博教授）

▽視聴覚情報を手掛かりとした移動における「迷い」の残響の関係（情報ネットワーク学科・山崎治准教授）

▽モノラル信号の物理特性と音像の幅（情報ネットワーク学科・柳川博文教授）

▽快適コミュニケーションのための残響可変装置を用いた音環境デザイン（未来ロボティクス学科・大川茂樹教授）

▽スマートホン・タブレットによる簡易音場シミュレータ（情報ネットワーク学科・須田宇宙准教授）

本学の音響情報研究センターには現在12人の研究者が参加。その専門分野は「音」に関する研究の8割方をカバーしている。これだけ多くの音響研究者が一つの大学に集まっているケースは、全国的にも本学だけだ。

東日本大震災で、町民に行政無縁で避難を呼びかけ続けた宮城県南三陸町の女性職員が津波に巻き込まれて死亡した事故以来、公共空間や広域放送における「音」による情報伝達に、社会の関心がより一層高まった。本学の研究陣に対する期待も高まっている。

# 形の科学シンポジウム

## 菊池教授、河合教授が招待講演

さまざまな学術分野の研究者が集まる「形の科学会」（会長＝種村正美統計数理研究所名誉教授）のシンポジウムが6月12～14日の3日間、津田沼校舎で開かれた（本学共催）。第79回を迎えた今回のシンポのテーマは「生物に見られる『ねじれ』構造」。全国の大規模なシンポジウムから集まった研究者が、3日間で45の研究発表を行い、このうち、本学関係者の発表が9件あった。

13日には4つの招待講演が無料の公開講演として開放され、学内外から多くの聴衆が詰め掛けた。未来ロボティクス学科の菊池耕生教授が「象の脚と蟻の脚のスケール則から見る形の力学」、生命環境科学科の河合剛太教授が「分子の形と進化の形は生き残る」と題して、日ごとの研究の成果を発表した。

菊池教授は、アメンボが水上歩行をしたり、クモやアリなどが垂直な壁

を自由に歩き回ったりできる仕組みなど「昆虫サイズの生物の能力のメカニズム」を説明して、ロボットの設計に生かすための原理を発見する研究に取り組んでいる。

この日は、象と蟻との考察から「体の大きさ（スケール）によって力学特性が変わり、それぞれの力学特性に合った設計原理が存在する。その設計原理に体のデザインを合わせると、飛ぶ・走る・登るなどの能力が増幅され、制御も簡単になる」という結論を披露した。

河合教授は「地球上のあらゆる生物——大腸菌も、植物も、人間も、絶滅した恐竜も——は、その細胞内で同じ方法でDNAを作っている。そこでDNAの原料の1つであるプリンヌクレオチドを生合成するタンパク質の立体構造を調べたら、地球上の全ての生物の祖先に起源生物がどうやってできたかが解明できるのではないか」として、地球の生命誕生の謎に、タンパク質の形から迫っていることを報告した。

このほか理化学研究所と京都大学の研究者も招待講演を行った。

今回のシンポで世話人を務めた機械サイエンス学科の手嶋吉法教授は「形の科学会」は幅広い分野の研究者が集まり、専門の垣根を超えて自由な議論を促している。公開講演を聞いた一般の人々も、研究の面白さや、自由闊達な議論を肌で感じてもらうと思う」と話している。



研究発表の会場



幾何学玩具の展示

「象と蟻との考察から「体の大きさ（スケール）によって力学特性が変わり、それぞれの力学特性に合った設計原理が存在する。その設計原理に体のデザインを合わせると、飛ぶ・走る・登るなどの能力が増幅され、制御も簡単になる」という結論を披露した。

河合教授は「地球上のあらゆる生物——大腸菌も、植物も、人間も、絶滅した恐竜も——は、その細胞内で同じ方法でDNAを作っている。そこでDNAの原料の1つであるプリンヌクレオチドを生合成するタンパク質の立体

構造を調べたら、地球上の全ての生物の祖先に起源生物がどうやってできたかが解明できるのではないか」として、地球の生命誕生の謎に、タンパク質の形から迫っていることを報告した。

このほか理化学研究所と京都大学の研究者も招待講演を行った。

今回のシンポで世話人を務めた機械サイエンス学科の手嶋吉法教授は「形の科学会」は幅広い分野の研究者が集まり、専門の垣根を超えて自由な議論を促している。公開講演を聞いた一般の人々も、研究の面白さや、自由闊達な議論を肌で感じてもらうと思う」と話している。

# 発見！未来人

コンピュータ・ハイテック株式会社 S I 事業部オープンシステムグループリーダー

中西 一貴さん

2004年、情報工学科卒業



職場で同僚たちにシステムを説明する中西さん

在学中は「最適化ソフトウェア」などの研究に取り組みました。プログラミング演習で初めて LINUX のワークステーションに触れ、パソコン以外のコンピューターがあることを知りました。

現在の仕事は、文教システムの開発・導入・保守。主なシステムは①先生方の研究業績を効果的に収集・発信できる「研究業績管理システム」②科学研究費を簡単に適正管理できる「科研費管理システム」——で、ともにウェブで管理を行い、当社初めてのクラウド形態としても提

供しています。

ニッチな分野ですが、現在メインで担当しているシステムは100校以上の大学に導入されており、この分野でシェア1位です。

当社の社風はとてアットホーム。仕事以外の付き合いも多く、みんな仲間のような関係です。私が副会長をしている親睦会が主催するボーリング大会が定期的であり、また、有志によるフットサルやダーツ、ゴルフコンペなども行われて、みんな和気あいの雰囲気を楽しんでいます。

事業内容	以下のシステムのコンサル・提案・開発・導入（派遣は一切なし）＝①文教システム、大手某通信キャリアのウェブシステム、医療情報、総合流通情報、省エネ、生産管理、組込制御ほか②自社パッケージの企画・開発。（従業員約100人のうち30人が千葉工大OB）
所在地	〒110-0015 東京都台東区東上野3-18-7 上野駅前ビル

保健室 第1号

もうすぐ夏休み！楽しい反面、生活リズムが乱れやすくなる時期です。熱中症予防はもちろん、元気に後期を迎えられるよう、体調管理に気を付けて過ごしましょう。

## 暑さ本番！ 熱中症に注意！

熱中症は、7～8月がピークです。正しい知識をもって予防に努めましょう！

熱中症とは？…高温多湿な環境で、体内の水分・塩分のバランスが崩れたり、体温調節がうまく働かなくなり、体内に熱がたまり様々な症状を引き起こします。

**熱中症の症状は？**

軽	めまい・立ちくらみ・大量の汗
中	だるい・頭痛・吐き気
重	嘔吐・けいれん・意識がない

意識がはっきりしていれば・・・涼しい場所へ移動、水分補給、体を冷やす  
意識がはっきりしていない・自力で水分補給できない・・・すぐに救急車を呼ぶ！  
詳しい対処法はこちら → 環境省「熱中症予防情報サイト」<http://www.wbsetrv.go.jp/>

**熱中症の予防・対処法**

暑さを避ける	こまめに水分補給	体調に注意
炎天下の運動や長時間の外出を避ける。帽子の着用、こまめな休憩をとる。	外出時はもちろん、室内でもこまめに水分・塩分・経口補水液をとる。	寝不足・風邪などの後などに熱中症をおこしやすいため要注意。

参考：厚生労働省 熱中症関連情報

保健室は、津田沼校舎・新習志野校舎それぞれにあります。ケガ、具合の悪いとき、体調の相談など、気軽に来室してください。

<問い合わせ先> 保健室  
津田沼校舎（1号館1階）047-478-0231 新習志野校舎（12号館1階）047-454-9764

★ 今月号から「保健室だより」と「学生相談室だより」を随時掲載します。



# 神田外語大でスポーツ交流

## 60人参加し、バスケットなど楽しむ

神田外語大・葛張キャンパス(千葉県美浜区若葉)で6月7日(日)、春季スポーツ大会が開かれ、本学学友会執行委員会や文化会所属の学生、寮生ら約60人が参加して神田外語大生たちと一緒にスポーツを楽しんだ。カリキュラムや単位互換で本学と連携協定を結ぶ神田外語大・神田外語学院と、学科以外でも交流を深めるねらい。本学参加者はソフトボール、バスケットボールなどに出場した。

日差しは暑い絶好のスポーツ日和となり、人工芝のグラウンドで開会式。全員で準備体操の後、競技が開始され、どの競技も和気あいあいのなか進んでいった。学友会出場のソフトボールは白熱した接戦になった。

試合終了後は、両学生が隣り合わせて食事会。互いに普段の学内と異なる壁を越えた交流ができた。予算の概要は次のとおり。

# 「ものづくりマイスター」に認定

## 工作センター新倉さん、我孫子さん



新倉さん(右)と我孫子さん

工作センターで学生たちが旋盤やフライス盤などの汎用機械の使い方や指導している嘱託職員の新倉朝一さんと我孫子博さんが「厚生労働省のものづくりマイスター」(機械加工)に認定された。本学の産業の基礎となる高度な技能が失われることを防ぐために、中小企業や教育訓練機関で若者たちを実技指導する優れた技能を持った人を選んで認定している。認定対象職種は建設業と製造業分野の12職種。

新倉さんと我孫子さんはともに大手電機メーカーの日立で機械加工に携わった大ベテラン。その高い技能と指導経験を買われて工作センター入りし、今やセンターになくしてはならない存在だ。

工作センターの村越茂担当課長は、「お2人は学生たちに単に機械の使い方を指導するだけではなく、ものづくりの楽しさや、企業勤め時代の経験を生かして製品のコスト、納期といったことまで話して下さる。ものづくりで最も大切なコミュニケーション力や意匠を養うという意味でも、新倉さんと我孫子さんから指導を受けられることは、学生にとって貴重な経験だと思う」と話している。

# 市ごみゼロ運動に参加

## 学友会執行委の有志たち



バスケットボールの熱戦

ごみゼロ(5300)にちなんで6月最終日曜に行われた「ごみゼロ運動」(習志野市など主催)に、本学の学友会執行委員会の21人(福祉部・荒木毅部長・未来ロボティクス学科3年)が参加した。市内で一斉に街路などを清掃する運動で、今年度は秋津小学校をメイン会場に、小学校や公共施設

企業、市民団体から総勢700人が参加した。本学は昨年度から始めた「クリーンウォーク」のつながりに参加した。当日は快晴。秋津小で小学生らによる「まちをきれいにする作文」が朗読された後、清掃活動に入った。気温が上がりが熱中症の恐れもあったが、1人も倒れることなく無事に終了した。



荒木君は「多くの人の手で、きれいなまちに変わっていく様子がうかがえ、きれいな環境は、周辺の人々の努力のおかげというところに改めて気づかされました。」

そして「私たちが昨年2月2回、津田沼駅周辺を清掃し10月にはまた「クリーンウォーク」を予定しています。清掃運動を大きくしていくことで、地域に貢献できればと思っています」と話した。

# 学生共済会予算、決算を承認

## 予算

平成27年度学生共済会予算案は異議なく承認された。予算の概要は次のとおり。

● 給付金  
給付金支出金額は、昨年度140万円程度だったが、不測の事態に備え500万円を計上した。

● 学費貸与金  
学費貸与金支出額は、昨年度1200万円程度だったが、今年度からの学費再延納制度の廃止を考慮し、2400万円を計上した。

## 決算

平成26年度の学生共済会決算も同理事会で異議なく承認された。決算の概要は次のとおり。

収入の部では、昨年度をもって同窓会からの援助金は終了し、貸付金回収の2500万円や受取利息等を併せ合計約8600万円となった。今後は返還方法や督促方法を再度見直し回収率アップに努めたい。

支出の部では、共済会事業の周知を見直した結果、学生補償等のサポート制度利用者が増加した。今後も共済会事業の周知とサポートに努め、新事業を考慮していきたい。

# 平成27年度千葉工業大学学生共済会収支予算

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 会費収入	23,000,000	1. 支払保険料	24,000,000
2. 入会金収入	4,500,000	2. 給付金	5,000,000
3. 受取利息	180,000	3. 貸与金	27,000,000
4. 貸付金回収収入	23,000,000	4. 委託費	7,200,000
5. 手数料収入	1,500,000	5. 消耗品費	3,150,000
		6. 通信費	800,000
		7. 印刷費	500,000
		8. 会議費	200,000
		9. 支払手数料	400,000
		10. 事務費	100,000
小計	52,180,000	小計	68,350,000
前年度繰越金	17,054,906	次年度繰越金	884,906
総合計	69,234,906	総合計	69,234,906

# 平成26年度決算報告書

貸借対照表  
平成27年3月31日  
千葉工業大学学生共済会

資産の部		正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
(流動資産)			
普通預金	17,054,906	共済基金	205,000,000
定期預金	508,000,000	積立金	138,000,000
		貸付充当金	162,359,958
計	525,054,906	計	505,359,958
(固定資産)			
貸付金	162,359,958	学費貸与準備金	165,000,000
		次年度繰越金	17,054,906
計	162,359,958	計	182,054,906
合計	687,414,864	合計	687,414,864

# 平成26年度収支決算書

自平成26年4月1日：至平成27年3月31日

科目	予算額(①)	決算額(②)	差引増減額(②-①)	科目	予算額(①)	決算額(②)	差引増減額(②-①)
1. 会費収入	23,500,000	23,734,250	234,250	1. 支払保険料	20,000,000	26,241,725	6,241,725
2. 入会金収入	4,500,000	4,748,000	248,000	2. 給付金	5,000,000	1,436,000	△3,564,000
3. 同窓会援助金	0	0	0	3. 貸与金	30,000,000	12,005,000	△17,995,000
4. 受取利息	150,000	198,378	48,378	4. 委託費	7,000,000	7,129,656	129,656
5. 貸付金回収収入	26,000,000	25,667,602	△332,398	5. 通信費	800,000	509,594	△290,406
6. 手数料収入	1,800,000	1,770,512	△29,488	6. 印刷費	700,000	1,627,144	927,144
7. 学費貸与準備金取崩収入	0	0	0	7. 会議費	200,000	118,162	△81,838
8. 積立金取崩収入	0	0	0	8. 事務費	500,000	412,609	△87,391
9. 前年度繰越金	30,416,054	30,416,054	0	9. 学費貸与準備金組入支出	0	0	0
				10. 共済基金組入支出	0	0	0
当期収入計(A)	86,366,054	86,534,796	168,742	11. 積立金組入支出	20,000,000	20,000,000	0
				12. 予備費	2,166,054	0	△2,166,054
				当期支出計(B)	86,366,054	69,479,890	△16,886,164
				当期剰余金(A)-(B)	0	17,054,906	17,054,906



